

遠田 万葵さん 近畿環境保全(株)

黒子気質生かせる業務にやりがい

一般廃棄物、事業系一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬と、一般廃棄物、産業廃棄物の中間処理(リサイクル)を滋賀県、京都府京都市を中心に展開しているKINKANグループ(滋賀県)。産業廃棄物処理事業にとどまらず脱炭素、ダイバーシティ、地域社会への貢献などを通じ、SDGsに関する活動を積極的に行っている。今回紹介する同グループ近畿環境保全の遠田万葵さんは、京都市内の大学を卒業後、地元滋賀県の企業への就職を希望。陰で支える黒子気質の自分を生かせるとして、当初は営業サポート業務に就き、その後、新規顧客開拓を行うマーケティング業務を経験。現在はグループ全体の広報を担当する入社6年目の精鋭だ。

—— 貴社を就職先に決めた理由は。

生まれは滋賀県で、高校、大学は京都に通っていました。京都の企業に就職することも選択肢にありましたが、やはり水が合う地元で就職先を絞りました。

高校で生徒会活動をしていたのですが、

自分が前に出ていくより、文化祭の準備の際に、気づかない細かなところをさりげなくやっておくようなことが好きでした。

私が就活をしていた当時、当社は営業、営業事務、現場の三つで募集をしていたのですが、営業をサポートする営業事務という職種に興味を湧きました。

産業廃棄物処理は、継続して誰かがやらなければならないことです。そのため両親をはじめ周りの方々も「継続性のある業種である」と就職には賛成していただきました。

—— 業務の中で、黒子だと感じる場所はどこでしょうか。

入社6年目になりますが、これまではサービス資料の作成、契約書の手続き、お客様からの電話やメールでの問い合わせに対応していました。

また、新規顧客獲得のためにマーケティングの業務も行っていて、今は広報として社外とやりとりをさせていただいています。これまで経験した業務は、会社全体を支えているもので、自分には合っていると感じます。



DX化を図り、BCPへの対応として現在も在宅勤務などを実施しているという

ただ、サポートする立場であっても好奇心は旺盛です。与えられた業務の範疇でいろいろなものに興味を持って臨んでいます。

—— これまでの業務の中で面白かったものは。

すべて楽しく行えていましたが、細かい事務作業を淡々とこなす契約書の作成業務は、廃棄物処理法などの法律を改めて深く理解できるなど、新しい発見があり充実していました。また、マーケティング業務は未経験でしたが、戸惑いながらも新しい世界を知れて楽しかったです。

今は広報が主要業務で、担当してから1年程になります。地元の森林組合とのパートナーシップ協定を活性化し、森林を活かすアクティビティの企画・運営をはじめとしたCSR活動の発展に携わりました。また、SNSを活用した情報発信もまだまだ工夫しがいがあると思っています。

—— 先日、滋賀県の「しが 生物多様性取組認証制度」で最高評価の三つ星を取得されたとか。

はい。当社の窓口として認証取得に向けて取り組ませていただきました。グループ会社の湖南リサイクルセンターは、二つ星

を取得させていただきました。

—— リクルートにも関わっているとか。

地元の新卒者を対象に会社説明を行っています。「滋賀県のためにこのような仕事ができます」とか、「滋賀県内の資源循環を目指していること」などを説明するのですが、産業廃棄物処理業はなじみがない職種なので、理解していただきやすくするためにわかりやすい言葉に置き換えています。

例えば、今は年々ほとんどの学生に理解が深まっていると感じるSDGsへの取り組みは詳しく説明します。また、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会へ向けた目標「マザーレイクゴールズ(MLGs)」なども取り上げ、世界の動きを注視しながら行動はローカルに落としていることをわかりやすくお伝えしています。

—— お休みは取れていますか。

はい、有給も使わせていただいています。休みの日は映画観賞や友達と出かけます。映画はアニメが好きで、最近の名探偵コナンの最新作を観ました。

サンパイ女子募集 !!

INDUSTの名物企画「サンパイ女子(表紙写真とインタビューで構成)」では現在、登場していただける方を募集しております。担当業務、勤続年数問わず前向きな女性がいらっしゃれば、自薦、他薦問わず取材させていただきます。

●問い合わせ、お申込み: (株)環境新聞社 編集部 担当(武田) / m-takeda@kankyo-news.co.jp